

教科目名 コンピュータ概論 (Introduction to Computer)

学科名・学年 : 機械工学科 4年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 丸木勇治

授業の概要			
応用ソフトウェアの操作法の概要, コンピュータを構成するハードウェアや情報の表現, 情報通信技術, OSの役割やその他の情報処理の概要について理解する.			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (B2) (E2), JABEE 目標 (c) (d1②) (d2a) (g)	
(1) 代表的な応用ソフトの操作法の概要がわかる. (定期試験) (2) 情報の表現とハードウェアの基礎がわかる. (定期試験) (3) インターネットなどの情報通信の基礎技術がわかる. (定期試験) (4) OSの機能やプログラム作成の基本概念を理解することができる. (定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6,7	1. 応用ソフトウェア (1)ワードプロセッサ (2)プレゼンテーションソフト (3)表計算ソフト 2. コンピュータのハードウェア (1)2進法での数値の表現と演算 (2)デジタル表現と符号 (3)ハードウェアと周辺装置	○代表的な応用ソフトの操作法の概要を理解する. ○10進数, 2進数, 16進数などの相互変換と, パソコン内部で情報の表現について理解する. ○コンピュータを構成するハードウェアについて理解する.	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 3. 情報通信ネットワーク (1)情報通信の基礎技術 (2)インターネット 4. オペレーティングシステム (OS) (1)OSの役割と構造 (2)OSによる管理 5. 様々な情報処理 (1)データベース (2)マルチメディア	○自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する ○インターネットなどの情報通信の仕組みについて理解する. ○ワープロなどが動くためにはオペレーティングシステムという基盤ソフトウェアが動いていなければならない. そのOSの機能の概要について理解する ○様々な情報処理の概要について理解する.	【理解の度合い】
15	前期末試験		【試験の点数】 点
	前期末試験の解答と解説	○自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する	【理解の度合い】
履修上の注意	内容が広範囲に渡るので, 常に興味を持って自学自習すること.		【総合達成度】
教科書	稲垣耕作著, コンピュータ概説, コロナ社		
参考図書			
関連科目	情報処理, 電気電子回路, 情報処理II		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について, 2回の定期試験で評価する. また試験評価点からその20%を上限として, 欠席1回につき2点を減点する. 総合評価が60点以上を合格とする. 総合評価 = (2回の定期試験の平均) - (欠席)		【総合評価】 点